

# 提案書評価基準

## 1 基本的な評価事項

プロポーザルを特定するための評価項目は、表1のとおり。

## 2 評価方法

(1) 各評価項目について、表1「提案書評価項目」を参照し、次のように評価を行う。

ア 「業務実績」にかかる評価項目は、計20点の配点とする。

イ 「企画・運営に係る提案内容」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、15点、15点、15点、15点とし、計60点の配点とする。

ウ 「実施体制・スケジュール」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、10点、10点、10点、10点とし、計40点の配点とする。

エ 「ワーク・ライフ・バランス等に関する取組」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、各1点とし、計5点の配点とする。

(2) 各評価項目について、表2「評価の視点」を参照し、次のように評価を行う。

ア 「業務実績」にかかる評価項目は、1項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

イ 「企画・運営に係る提案内容」にかかる評価項目は、4項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

ウ 「実施体制・スケジュール」にかかる評価項目は、4項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

エ 「ワーク・ライフ・バランス等に関する取組」にかかる評価項目は、5項目とし、Aまたは該当なしの2段階評価を行う。

オ 提案内容は、それぞれの配点に、換算した評価（ $A = 5 / 5$ 、 $B = 4 / 5$ 、 $C = 3 / 5$ 、 $D = 2 / 5$ 、 $E = 0 / 5$ とする。）を乗じて算出する。

(3) 評価委員の評価の平均点数の $3 / 5$ 以上を合格点とし、もっとも平均点が高い者を特定者とする。

(4) 評価点について最上位の者が2者以上となった場合は、「提案書評価基準」における評価項目のうち、「企画・運営に係る提案内容」の合計点が高い方の提案を第一順位とする。さらに同点の場合は、同「企画・運営に係る提案内容」内の「国内外から多くの参加者を集めるためのコンベンションの企画・プログラムの内容、広報戦略」に関する評価の平均点が高い方の提案をプロポーザルの上位者とする。それでも決しない場合は評価委員長が第一順位を決定する。

(表1) 提案書評価項目

評価項目		配点	評価 (A~E)	評価の 換算式	評価点
1	業務実績	20	—	—	—
	(1) 類似業務の実績	20			
2	企画・運営に係る提案内容	60	—	—	—
	(1) 国内外から多くの参加者を集めるためのコンベンションの企画・プログラムの内容、広報戦略	15			
	(2) 多くの海外都市参加実現のための取組	15			
	(3) 効果的なネットワーキングにつながる仕組みや会場構成	15			
	(4) 協賛金獲得の考え方、見込み	15			
3	実施体制・スケジュール	40	—	—	—
	(1) 円滑な会議運営のために必要な要員数が提案されているか	10			
	(2) 配置される要員の語学力及び国際会議等の実務経験の有無	10			
	(3) 国内外の参加者のサポートは適切か	10			
	(4) 実施スケジュールは適切か	10			
小計(満点:120点)		120			

評価項目(加算項目)		配点	評価		評価点
4	ワーク・ライフ・バランス等に関する取組	5	—	—	—
	(1) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算)	1			
	(2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算)	1			
	(3) 次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定、プラチナくるみん認定、トライくるみん認定)の取得	1			
	(4) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし認定、プラチナえるぼし認定)の取得	1			
	(5) 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	左記認定のいずれか1つ以上を取得していれば1点			
	よこはまグッドバランス企業(旧よこはまグッドバランス賞)の認定の取得				
	脱炭素取組宣言制度実施要綱に基づき、脱炭素取組宣言を行っているか(支店、営業所、事務所等の宣言を含む)。				
小計(満点:5点)		5	—	—	
合計(満点:125点)		125	—	—	

(表2) 評価の視点

評価項目		評価の着目点	評価				
			A	B	C	D	E
1 業務実績	(1) 類似業務の実績	国際会議等の運営実績を十分に有しているか。	本業務を遂行できる極めて豊富な実績等を有している。	本業務を遂行できる豊富な実績等を有している。	十分な業務実績を有している。	業務実績が十分であるか疑問がある。	相応な実績を有していない。
2 企画・運営に係る提案内容	(1) 国内外から多くの参加者を集めるためのコンベンションの企画・プログラムの内容、広報戦略	コンベンション企画・プログラム内容、広報戦略が示され、多くの参加が期待されるものとなっているか。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性があり、過年度を上回る参加が期待される。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性があり、過年度と同レベルの参加が期待される。	提案者独自の工夫や提案がないが、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がなく、実現性に一部疑問がある。	妥当でない。
	(2) 多くの海外都市参加実現のための取組	多くの海外都市参加実現のための取組が提案されているか。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性があり、過年度を上回る参加が期待される。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性があり、過年度と同レベルの参加が期待される。	提案者独自の工夫や提案がないが、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がなく、実現性に一部疑問がある。	妥当でない。
	(3) 効果的なネットワークにつながる仕組みや会場構成	効果的なネットワークにつながる仕組みや会場構成が提案されているか。	提案者独自の極めて有効な工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられるが実現性がない。	妥当でない。
	(4) 協賛金獲得の考え方、見込み	協賛金獲得の考え方、見込みが示され、実現可能性は高いか。	提案者独自の極めて有効な工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられるが実現性がない。	妥当でない。

3 実施体制・スケジュール	(1) 円滑な会議運営	運営者側との連絡調整や円滑な会議運営の実施が可能な体制の提案となっているか。	実施体制が極めて優れている。	実施体制が優れている。	妥当である。	実施体制・内容が一部妥当でない。	妥当でない。
	(2) 配置される要員の語学力及び国際会議等の実務経験の有無	配置される要員の語学力及び国際会議等の実務経験の有無。	語学力及び実務経験が極めて優れている。	語学力及び実務経験が優れている。	妥当である。	語学力及び実務経験が一部不十分である。	十分でない。
	(3) 国内外の参加者のサポート	業務実施に当たり、日本語及び英語の両言語にて対応可能であり、国内外の参加者とときめ細かく連絡調整・サポート等が行える体制の提案となっているか。	実施体制が極めて優れている。	実施体制が優れている。	妥当である。	実施体制が一部妥当でない。	妥当でない。
	(4) スケジュール	業務実施に際し適切で実行性が高いスケジュールの提案となっているか。	スケジュールが極めて優れており、実現性がある。	スケジュールが優れており、実現性がある。	妥当である。	スケジュールが一部妥当でない。	妥当でない。

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
4 ワーク・ライフ・バランス等に関する取組	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定しているか。(従業員 100 人以下の場合のみ加算)	策定している。				
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画を策定しているか。(従業員 100 人以下の場合のみ加算)	策定している。				
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみん認定、プラチナくるみん認定、トライくるみん認定）を取得しているか。	取得している。				
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし認定、プラチナえるぼし認定）を取得しているか。	取得している。				
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定を取得しているか。	左記認定のいずれか1つ以上を取得している。				
	よこはまグッドバランス企業（旧よこはまグッドバランス賞）の認定を取得しているか。					
脱炭素取組宣言制度実施要綱に基づき、脱炭素取組宣言を行っているか（支店、営業所、事務所等の宣言を含む）。						